

12人の学生スタッフが等身大の目線で取材した

山口県の 元気企業レポート 2018



YYジョブサロン

山口県若者就職支援センター <http://www.joby.jp/>

この冊子は、山口県内の大学に通う12人の学生のみなさんが
山口県の元気企業で活躍する人々を取材・撮影して完成した情報誌です。
自らの足で企業を訪問し、たくさんの人に出会い、
そこで感じた働くことの大変さや楽しさを
等身大のレポートとしてまとめてくれました。
皆さんの就職活動の参考になれば幸いです。



12人の学生スタッフが等身大の目線で取材した

山口県の 元気企業レポート 2018

CONTENTS

医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院	2
井森工業(株)	3
宇部工業(株)	4
(株)エイム	5
(株)木原製作所	6
三新化学工業(株)	7
(株)ジオパワーシステム	8
ジャパンファインスチール(株)	9
(株)ストロベリーメディアアーツ	10
(株)スナダフーツ	11
高山産業(株)	12
高山石油ガス(株)	13
医療法人治徳会 湯野温泉病院	14
長府工産(株)	15
テレビ山口(株)	16
東亜自動車工業(株)	17
徳機(株)	18
中村被服(株)	19
(株)中山組	20
(株)ニシエフ	21
社会福祉法人稗田福祉会	22
(株)フジマ	23
(株)藤本コーポレーション	24
ブルーウェーブテクノロジーズ(株)	25
(株)ベルポリエステルプロダクツ	26
社会福祉法人朋愛会	27
三笠産業(株)	28
(株)MIHORI	29
柳井紙工(株)	30
山口トヨタ自動車(株)	31
取材後記	32

:Company Name

医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院

:Personal Data



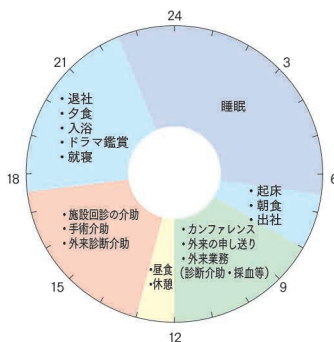
責任があるからこそ 誇りが持てる

うれしかったこと

病棟勤務時代、全盲の受け持ち患者さんの誕生日にスタッフ全員で訪室し、メッセージカードと歌のプレゼントを行いました。その時に涙を流して喜んでくださったことが嬉しかったです。最後にみんなで記念写真撮影。一番心に残っている出来事です。

学生の皆さんへメッセージ

辛いことや悔しいこともあります。それ以上に看護をすることは楽しく看護師になって良かったと思っています。看護師になって初めて分かったことですが、患者さんから励ましていただいたり患者さんに癒してもらったりすることが多いです。命を預かる仕事であり責任も大きい職業ですが、誇りを持って働くことができます。



:Profile

枝村 麻衣子さん(30歳)

外来看護師
山口県防府市出身
山口県立防府高校衛生看護専攻科卒

:Company Profile



医療法人社団向陽会 阿知須同仁病院

「病気の時も、健康な時も、入院でも、在宅でも」皆様の健康維持のお手伝いで50年以上の実績を持っています。「一視同仁」を念頭に常に全力を尽くしています。

- 事業内容 / 各種健診、外来、入院、通所リハビリ、訪問看護、訪問リハビリの業務を行っています。
- 設立 / 昭和37年4月
- 本社所在地 / 山口市阿知須4241-4
- 代表者 / 理事長 西田 一也
- 資本金 / 400万円
- 売上高 / 13億円
- 従業員数 / 195名(うちパート 31名)
- 事業所 / 本院

お問い合わせ先

担当/企画室 西田 真理子
TEL 0836-65-5555
E-mail adh-jinji@ajisudohjin.com
http://www.ajisudohjin.com

Interview



優しさも忘れない

中学生の頃に観たドラマの影響で看護師を志した枝村さん。知識も技術も大切にしながら、優しい看護師でありたいと話す。主に外来を担当しており、診察介助や検査、手術の補助などを行っている。どんな場面においてもこんな人に看てもらえてよかったと思ってもらえるように日々人間性を磨き、患者さんひとりひとりに心を込めて看護をしている。同仁病院の患者さんの多くは高齢者であるため丁寧な言葉遣いや、大きな声でゆっくり話すこと、聞きやすいように耳元に喋りかけることを心掛けているという。「実はとても魅力的な仕事」枝村さんは私たちの質問に対して、笑顔でわかりやすいように答えてくださる姿が印象的だった。



医療はチームで行う仕事

看護師は一般的に夜勤があり患者さんの介助など体力も必要となるため、厳しい世界だというイメージを持たれがちだが、それ以上の達成感を得られる仕事である。看護師は患者さんを元気にする職業だが、患者さんから逆に元気をもらったり、励まされることもあるという。阿知須同仁病院では月1回ほど、患者さんに楽しんでもらえるイベントも企画しており、一緒に楽しめる機会もある。命を預かる責任は大きい、誇りを持てる素敵な仕事だと話す。「ここは部署の垣根を超えて仕事をします。医療はチームで行う仕事だから。」厳しい仕事だが、楽しそうに話す枝村さんは看護師という仕事に心からやりがいを持っているのだと感じた。

井森工業株式会社



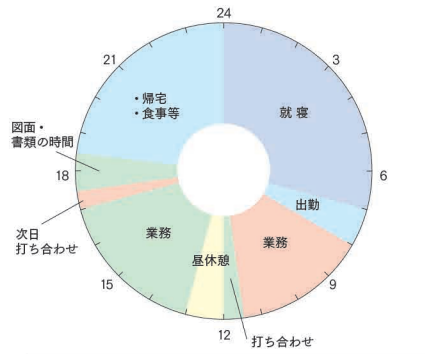
モノを生み出す 楽しさのある仕事

うれしかったこと

現場を完成させるのは一人の力ではできず、各職種・職人さんとの協力の上で出来上がっていきます。細やかな部分についても関係者間でのPDCAを回していき現場に携わる多くの人との出会い・造り上げていくことそして建物が完成した時の安堵感・達成感は何よりの喜びです。

学生の皆さんへメッセージ

仕事はやりたいことであつたとしても楽しいことばかりでなく失敗や悩み学んでいくことも多々あります。仕事に就きどこかにやりがいを感じる事ができれば頑張つて続けていくことが大切だと思います。「継続は力」で得られるものは多いはずで。



:Profile

吉岡 栄さん(38歳)

建築部 係長
山口県萩市出身
山口県立萩商工高校建築科卒



井森工業株式会社

今年創業90年を迎え、その間数多くの土木建築構造物を施工してきました。今後も、社会資本の整備を軸に、皆様に愛され地域に貢献できる企業として発展するべく、新人や女性技術者の育成に取り組み、働き方改革等、時代にマッチした会社風土の構築を目指しています。

■ 事業内容 / 総合建設業 建築工事の設計・施工(1級建築士事務所)
土木工事(陸上及び海洋)の施工業務 海上地盤改良(SCP船1隻保有)

- 設立 / 昭和25年3月
- 本社所在地 / 柳井市伊保庄4907
- 代表者 / 代表取締役社長 吉崎 雅弘
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 59億円(平成29年6月)
- 従業員数 / 113名
- 事業所 / 東京支店・岩国営業所・大島営業所

お問い合わせ先

担当/総務部 福田 憲史
TEL 0820-22-1500
E-mail k-fukuda@imori.co.jp
<http://www.imori.co.jp>

:Interview



建物を作ることは、とても大きくて繊細な作業

井森工業は、柳井市に本社を置き、創業90年という山口県を代表する総合建設会社である。維新公園のスタジアムやきらら博記念公園のプール、各地の小学校や高校、公共施設など、私たちも知っている建築物の数々を手がけている会社である。

建築の現場では、多くの人が協力して仕事を行う。様々な人と出会い、話をしながら仕事を進めることが不可欠だ。年齢層に幅があるため、コミュニケーションに苦労することもあるという。だが、いろんな障害を乗り越えて、建築物が完成した時の喜びは大きい。仕事の成果が形となって残る建設業の魅力を笑顔で教えてくれた。



いつか上に立つ人間になるために

現在は、現場で副リーダーを任されている吉岡さん。いずれは、リーダーを務められるようになりたいという強い想いを持って、現在のリーダーの姿から学んで、ひとつずつ経験を積んでいる。

「失敗は自分の財産。伝えたら会社の財産。情報は全体で共有することが重要。」リーダーからの言葉をじっと聞いていた吉岡さん。その教を自分の中に落とし込み、力としてしているようだった。「今は学んでいる最中。いつか上に立つ人間になるため、経験と知識を自分のものにしたい。」そんな吉岡さんに静かな中にも熱い情熱を感じた。

:Company Name

宇部工業株式会社

:Personal Data



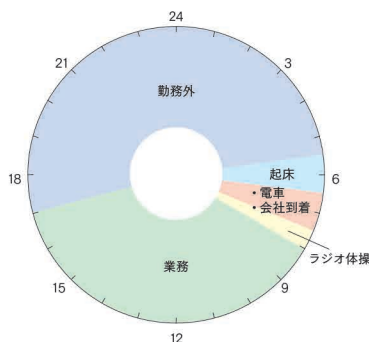
お客様の要望に+αを 加えた仕事をしていきたい

仕事のモットー

「ほうれんそう」をしっかり守っています。どんな小さなことであっても、上司に報告をしています。連絡、相談も同様に行っています。設計する時に、使用者の目線となって設計を考えています。

学生の皆さんへメッセージ

就職活動はかなり大変だと思います。しかし、自分の過去を振り返る良い機会でもあります。自分の意志を貫いて、悔いのないようにしてほしいです。



:Profile

明石 和也さん(25歳)

設計部
山口県山口市出身
山口東京理科大学工学部電気科卒

:Company Profile



宇部工業株式会社

当社は創業以来、鉄工部門では石油、化学プラント、航空・空港燃料給油施設、橋梁、水門除塵機、食品機械等、建築部門では港湾土木、一般土木、港湾浚渫、ビル建築、工場建築等の設計、製作、施工の総合エンジニアリング企業です。

- 事業内容 / 石油・化学プラント、空港給油施設、水門、橋梁、除塵機、港湾土木、陸上土木、一般建築、浚渫、食品機械等製造
- 設立 / 昭和23年11月
- 本社所在地 / 宇部市大字妻崎開作874番地-1
- 代表者 / 代表取締役社長 河野 剛志
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 90億円
- 従業員数 / 196名(うちパート4名)
- 事業所 / 東京支店

お問い合わせ先

担当 / 総務部総務課 中井
TEL 0836-41-8448
E-mail soumu@ubekogyo.co.jp
<http://www.ubekogyo.co.jp>

Interview



過ちからの打開策

入社した当初は、それまでに技術系の業務の経験が全くなくて、自分の知識が不足していたため、スムーズな業務進行ができずに困ったという明石さん。この課題を克服するために自身で考えた解決策として、上司からの言葉をとにかく細かくノートやメモに書き留め、それを繰り返すことで知識不足をカバーしていったそうだ。この努力の甲斐もあって、今では、お客様から「ありがとう」という感謝の言葉をいただくことが多くなったという。受け身の仕事だけではなく、自らが積極的に考え行動に移すことが大切であると感じた。



「形」へ

お客様からの要望を「形」へ変えることを心がけている明石さん。「形」だけだと誰でもできるという。これに、さらに安全性と使いやすさを提供することが重要な仕事となっている。使いやすさに関しては、小さなことに目をつけて、使用者の目線になって設計することを心がけているそうだ。今できること、やれることを全力で取り組むことに明石さんは励んでいる。

株式会社エイム



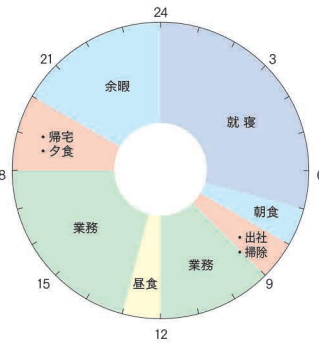
会社の新体制に備えて 業務の効率化を図る

仕事のモットー

お客様との対話を大切にしています。お客様に満足いただけるシステムを提供するためには、要望を整理することが重要です。こまめな連絡、確認を行い、お客様の要望を整理すると共に、相談していただけるような信頼関係を構築できるよう意識しています。

うれしかったこと

お客様先に訪問した際、ちょっとしたパソコン関係の相談事を受けた時など、お客様に頼っていただけただけでとても嬉しい気持ちになります。また、相談事に対して提案を行い、新しい案件へと発展させることができた際は達成感を感じます。



:Profile

山野 智博さん(27歳)

総務ソリューショングループ
山口県山口市出身
日本工学院専門学校 ITカレッジ ITスペシャリスト科卒



株式会社エイム

「志は不朽にあるべし」が社長の理念。その思いをエイム(AIM=目標・志)という社名に込めました。夢に向かって走り続けることで、すべての社員の成長と物心両面の幸せ、そして企業としての飛躍を追及します。

- 事業内容 / ・コンピュータシステムの設計、導入、指導補助
・コンピュータソフトウェアの開発、販売、保守
・コンピュータシステムの運営及び管理の受託
・コンピュータ機器の開発、販売及び保守
・労働者派遣事業法に基づく人材の派遣 派35-300157

- 設立 / 平成14年11月
- 本社所在地 / 宇部市西岐波区宇部臨空頭脳パーク1番
- 代表者 / 代表取締役 藤井 政夫
- 資本金 / 2,500万円
- 売上高 / 7億8,000万円
- 従業員数 / 101名(うちパート2名)
- 事業所 / 本社(宇部市)、東京支店

お問い合わせ先

担当/総務ソリューショングループ 富田 祥司
TEL 0836-39-6100
E-mail saiyou@aim-yamaguchi.co.jp
<http://www.aim-yamaguchi.co.jp>

:Interview



山口でやりたい仕事に出会った

株式会社エイムは、システム開発やソフトウェア開発を行う会社である。東京のIT専門学校に通う中で、地図システムに関する仕事に就きたいと思うようになったという山野さん。入社後はGISという地図情報システムを用いてシステム開発をしていたという。そんな山野さんが仕事にやりがいを感じるのには、お客様から直接業務と関係のないところでも相談を頂いた時。「信頼されているんだなと感じますし、頼られているなと嬉しくなります。会話の中から新しい仕事に繋がった時には達成感を感じます。」と語る。また、社内の方と交流できるイベントが多く、バーベキューでは内定者のお披露目も行われ、業務で関わらない方も会話することができる。



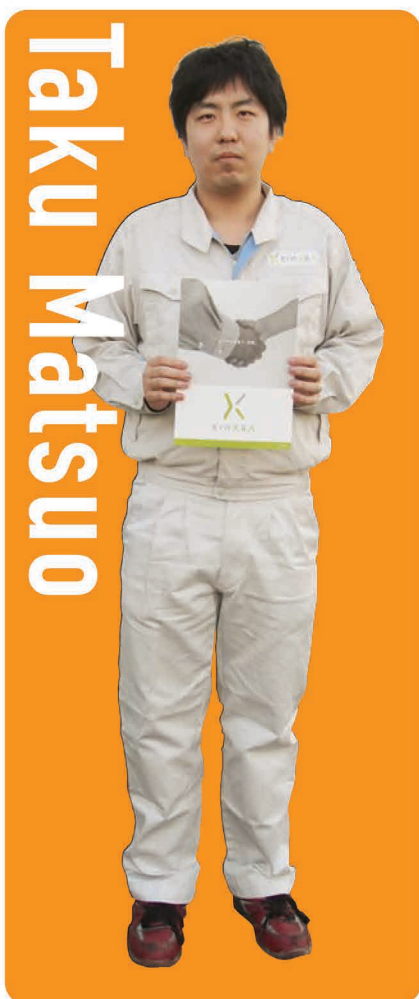
経験を活かしたシステム開発で会社を支えたい

今年、システム開発部から総務部へ異動した山野さん。現在は契約管理の仕事を担当され、契約の締結やお問い合わせの対応を行っている。今後は、システム開発の経験を活かして、新たに社内管理システムの構築を行い、業務の効率化を図ることが期待されている。「不安もありますが、責任を持って仕事をしたいです。それにもうすぐ子どもが生まれるので、ますます頑張らないといけないですね。」と話す。奥さんとは社内結婚で、社内初の育児休暇を取得した。また、社内には今年から企業内保育所が併設され、子育てと仕事の両立を支援する体制も整う。「働きやすい環境づくりを進めてくれる会社には感謝です。その分頑張るって恩返ししたいです。」山野さんの益々の活躍が期待される。

:Company Name

株式会社木原製作所

:Personal Data



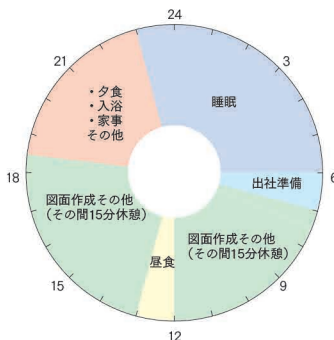
将来は会社を 引っ張っていきける存在に

仕事のモットー

責任を持って、どんな仕事でも“やらされている”のではなく“任されている”と思って責任を持って仕事に取り組んでいます。そういう姿というのは周りの人にも伝わると思っています。その積み重ねで信頼され頼られる存在になりたいです。

うれしかったこと

私が初めてメインの担当として設計をした機械の完成した姿を見た時は最高に嬉しかったです。それまでも先輩に付いて図面を書くことはありましたが、格段に嬉しかったのを今でも覚えています。また、開発部の一員になれたなと思ったのもその時でした。



:Profile

松尾 拓さん(29歳)

開発部
広島県広島市出身
大分大学工学部機械エネルギーシステム工学科卒

:Company Profile



株式会社木原製作所

明治35(1902)年創業。高度な乾燥技術は各界から高い評価を受け「ものづくり日本大賞」始め各賞を受賞。製品のユーザーは国内全47都道府県から海外にまで及びます。

- 事業内容 / 各種乾燥機を中心とした自社ブランド製品の開発・製造・販売など
- 設立 / 昭和26年2月
- 本社所在地 / 山口市秋穂西3106番地1
- 代表者 / 代表取締役社長 木原 康博
- 資本金 / 4,500万円
- 売上高 / 10億円
- 従業員数 / 70名(うちパート 5名)
- 事業所 / 全国13事業所(青森県、新潟県、茨城県、岡山県、山口県、愛媛県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、沖縄県)

お問い合わせ先

担当/総務部 部長 小野多加夫
TEL 083-984-2211
E-mail takao-ono@kihara-works.com
http://www.kihara-works.com

Interview



乾燥を身近に

塩、葉たばこの乾燥から今では食品乾燥まで温風乾燥機を作り上げる株式会社木原製作所。山口県内をはじめ、県外へもシェアを拡大。海外への進出も目指しており、英語、ロシア語を用いた情報提供も行っている。つながりを大切にされている会社で、「山口市役所かんぶつ部」を設立。県や市と連携をとりながら6次産業化支援に関する社会貢献の取組が大きく評価されている。「乾燥と言えばドライフルーツのイメージが大きいが、ビールの麦の乾燥、出雲大社のしめ縄など身近なものに木原製作所の乾燥機が使われている。乾燥のイメージを持ってもらい、身近なものであることを感じてほしい。」と語ってくれた。



山口から発信する

食品乾燥機の開発、設計を行っている松尾さん。この仕事のやりがいを聞くと「依頼された乾燥機を1からすべて作る。ニーズに応え、物ができる喜びは忘れられない。先輩から多くのことを吸収して、自身が引っ張っていきけるようになりたい。」と語ってくれた。山口での就職について何うと「都会とは違い、人とのつながりやあたたかさ、ゆっくりとした時間の流れを感じる。社内でも社外でも人と人の距離が近いからこそ親密になって物づくりができる。」と山口の良さを改めて感じる事ができた。

三新化学工業株式会社



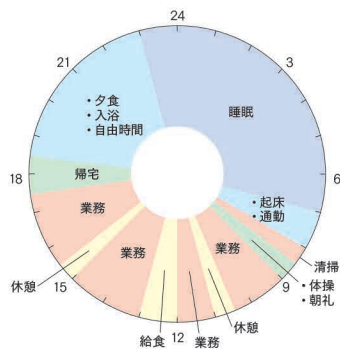
いつも真剣に真っ直ぐに仕事に向き合う

失敗したこと

配属当初、注文情報をこまめに確認できておらず、在庫が少なくなっていることがありました。営業マンから早めに情報もらい、製造サイドが効率的に生産できる環境をつくることの大切さに気づき、自分の存在価値を再認識することができました。

休日の過ごし方

地元の友人や知人と運動(趣味のソフトテニス)等をしたり、ドライブに行ったりしています。また、地元行事がある際は会社の若手社員と共にイベントの企画や、お手伝いをさせていただいています。地域の方と共に地元を盛り上げていきたいと考えています。



:Profile

宮地 竜太郎さん(25歳)

営業部 営業課
山口県柳井市出身
岡山理科大学理学部化学科卒



三新化学工業株式会社

世界に通用する企業を目指して、自社技術にこだわったオリジナル商品を中心に造り上げてきました。その製品は国内外から高い評価をいただいております。

- 事業内容 / 有機ゴム薬品、重合調整剤、その他化学薬品の製造
- 設立 / 昭和24年10月
- 本社所在地 / 山口県柳井市南町4丁目1番41号
- 代表者 / 河岡 竜太郎
- 資本金 / 1億5,000万円
- 売上高 / 54億8,000万円
- 従業員数 / 約154名(うちパート5名)
- 事業所 / 本社・平生工場・柳井工場・研究所・東京連絡所・大阪連絡所

お問い合わせ先

担当 / 総務部総務課 課長 松本 茂
TEL 0820-23-7111
E-mail s.matsumoto@sanshin-ci.co.jp
<http://www.sanshin-ci.co.jp>

:Interview



ゴムの性能を変化させるプロフェッショナル

ゴム製品は原料から直接作られるのではない。添加薬品をどのように添加するかによってゴムの性能は変化する。この時の添加薬品が加硫剤や加硫促進剤であり、これらを自由自在に操りゴムの性能を上げている会社が三新化学工業である。ゴムの性能を決める薬品をプロフェッショナルとして用いて仕事を行う。また、硫黄の扱いも得意としており、お客様が求める硬さにするために樹脂を硬化させる樹脂硬化剤も作っている。添加薬品を利用して、輪ゴムやタイヤといった私たちが身の回りで必要とする物質の性能を変化させるプロフェッショナルは理系学生の気を引き付けてやまないと感じた。

社員同士が家族のような職場

働き始めて3年目の宮地さん。この会社を選んだ3つの理由は、「休みがしっかりととれて自分の時間を作ることができること、化学が好きなこと、柳井市出身で親の面倒を見ながら仕事ができること」であると語ってくれた。宮地さんと一緒に取材に応じてくれた松本さんも入社して驚いたことは「福利厚生良さ」という。また、宮地さんは「学生時代には人間関係といういろいろな人と話すことを大事にするべき」という。2人に取材を行っていく中で、まるで家族のように話す2人を見ると社員同士の人間関係やコミュニケーションもとても大事にしている会社であると感じることができた。

株式会社ジオパワーシステム



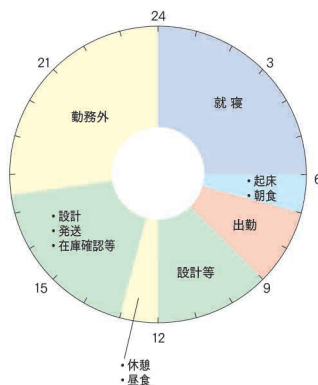
正確な仕事で お客様の暮らしを支えたい

仕事のモットー

現場で作業する人が施工しやすくするために、正確な図面を書くことです。図面上で1ミリでもズレがあると設置する風の吹き出し口の位置が変わってしまうので、正確で分かりやすい図面を書くように気を付けています。

うれしかったこと

お客様の家の図面やパイプを埋める地中の状況、生活の邪魔にならない風の吹き出し口の位置などを考慮した上で自分が最適だと思える設計をしたところ、お客様から気に入ってもらえ、自分の設計通りに作業が進んでいったことに大きな喜びを感じました。



濱井 亮太さん(23歳)

設計企画部
山口県山陽小野田市出身
宇部鴻城高校機械科卒



株式会社ジオパワーシステム

地中5メートルの熱を利用し、夏涼しく冬暖かい空間を提供することで一般家庭の冷暖房エネルギーを削減させ、外気の粉塵を除去する24時間換気システム「ジオパワーシステム」を販売する企業です。

- 事業内容 / 地中熱などの自然エネルギーを利用した省エネ技術「GEOパワーシステム」の研究・開発・製造・販売
- 設立 / 平成13年4月
- 本社所在地 / 美祿市秋芳町別府2604-1
- 代表者 / 橋本 真成
- 資本金 / 9,500万円
- 売上高 / 6億9,000万円
- 従業員数 / 29名(うちパート4名)
- 事業所 / 美祿市、山口市、長門市、埼玉県越谷市

お問い合わせ先

担当/事務局 志賀 由紀
TEL 0837-65-3511
E-mail y-shiga@geo-power.co.jp
<https://www.geo-power.co.jp>

Interview



自然と共存していく暮らしの提供

地上と地中には温度差がある。それを活用し、地中5メートルにアルミのパイプを通し、夏は涼しい、冬は暖かい風を地上に送る「ジオパワーシステム」の販売を行い、四季を受け入れ、自然と共存していく暮らしの提供をしている。

このシステムの目的は、「室内の換気」と「エアコンの使用時間を減らす」ことである。実際にシステムが設置してある部屋に入ってみると、送られてくる風はそよ風のように、部屋全体に柔らかな涼しさが漂っていた。他に例のない、自然と共存していくこのシステムは海外にも広まってっていると教えていただいた濱井さんの表情からは、自信がうかがえた。



自由な分、責任も大きい

「規模が小さく、人数も少ない会社なので、どの内容の仕事もできないといけないんです」と語る濱井さん。設計を担当されているが、時には自ら営業をしたり、技術スタッフとして現場に出たりと毎日の業務内容はバラバラだそう。また、人数が少ないことで、入社して間もない時期でありながら大きな仕事が任されることもあったそう。仕事を任せられ、自由にやらせてくれる分、その責任も大きくなる。自分もお客様も、現場で施工をする業者の方も納得できる設計ができたときに感じる喜びが、なによりのやりがいであると教えていただいた。

ジャパンファインスチール株式会社



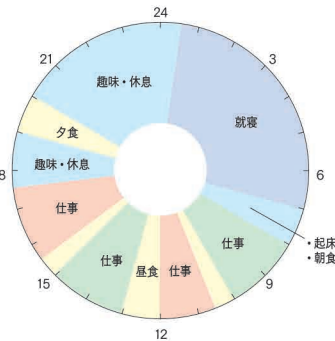
毎日勉強、その積み重ねが 新製品の誕生に

仕事のモットー

私の仕事のモットーは“1日1改善”です。些細なことでもいいので1日に1つの改善を積み重ねることができれば、1年で見ると大きな効果が期待できます。現状は中々実現できていませんが、1つでも多く改善をできるように日々仕事に取り組んでいます。

うれしかったこと

四半期に一度仕事の進捗を報告する場があり、今年の7月に初めて進捗報告を行いました。ひどく緊張しましたが、報告後に上司や先輩から“良かったよ”と声を掛けていただいたことです。大学院での研究の経験が、自分の仕事への自信となりました。



:Profile

藤田 達也さん(26歳)

CS部 技術グループ
山口県長門市出身
山口大学大学院理工学研究科電子デバイス専攻修了



ジャパンファインスチール株式会社

わたしたちの主力製品ソーワイヤは、半導体や太陽電池の製造に欠かせないシリコンウェーハの生産に使用される高精度の工具です。皆さんがお使いのスマートフォン・PCなども、上流へ遊るとわたしたちのつくるソーワイヤが使用されています。

- 事業内容 / 各種金属製品の製造・販売
- 設立 / 平成8年4月
- 本社所在地 / 山陽小野田市石井手一丁目19番1号
- 代表者 / 代表取締役 長尾 浩司
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 42億円(2016年度)
- 従業員数 / 163名(うちパート9名)
- 事業所 / 本社工場のみ

お問い合わせ先

担当/管理部 宮本 三敬
TEL 0836-83-4982
E-mail miyamoto@jpsc.co.jp
http://www.jpsc.co.jp

:Interview



既存のものをより良いものへ

ジャパンファインスチール株式会社で製造しているソーワイヤは半導体や太陽電池の製造に欠かすことのできないシリコンウェーハの生産に使用される工具である。

CS部技術グループの藤田さんは主に製品における不良率の改善や既存のものから新商品を製造する業務に携わっている。「製品に対するアプローチの仕方など、毎日が勉強」と語ってくれたが、その一つ一つの積み重ねがより良い製品を生み出し私たちの生活を支えてくれるのだろう。



興味を仕事へ

藤田さんは学生時代、電気を通しやすい「導体」と電気を通さない「絶縁体」の間である半導体の授業で半導体に興味を持ち半導体に関わっていきたくて思ったのだという。

また、学生時代のサークルがもの作りに関するサークルであったことも相まって就職を決めたそうだ。「学生のうちに研究に関することや趣味、遊びなどいろいろなことを経験し、興味を持ち、体験する。これらのことは仕事などいろいろな場面で活かせる。」と語ってくれた。

:Company Name

株式会社ストロベリーメディアアーツ

:Personal Data



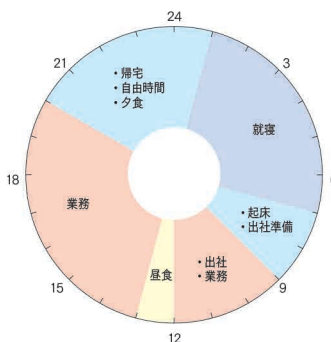
お客様に寄り添って 満足の行くイベントを

仕事のモットー

クライアントに親身になって接することです。クライアントによっては、イベントに携わることが初めてという方も多々います。その中で、どのような演出を行いたいかを親身になって聞くことで、良いイベントになっていくと思います。

学生の皆さんへメッセージ

いろいろなことに積極的に真剣に挑戦してみてください。挑戦している途中では嫌になることもあるかもしれませんが、しかし、真剣に挑戦したら、終わった後の達成感はとても良いものです。若いうちからいろいろな経験を積んでおいて損はありません。



:Profile

中原 淳さん(44歳)

制作企画部
山口県下関市出身
下関市立下関商業高校卒

:Company Profile



株式会社ストロベリーメディアアーツ

映像・音響機器の販売・レンタルとともに、使用されるコンテンツ制作も含め、各種イベントの企画・運営や機器の設置からオペレーションまでを総合的に行なっています。

- 事業内容 / 各種イベントの企画、運営
映像・音響・照明機器のレンタル、オペレーター派遣
- 設立 / 昭和59年12月
- 本社所在地 / 下関市一の宮町3-11-4
- 代表者 / 林由美子
- 資本金 / 2,000万円
- 従業員数 / 47名(うちパート5名)
- 事業所 / 東京オフィス・美女木倉庫
名古屋オフィス・大阪オフィス
広島オフィス・松山オフィス
福岡オフィス・北九州オフィス
鹿児島オフィス・沖縄支社

お問い合わせ先

担当 / 大日向
TEL 083-263-3040
E-mail sma@smacom.jp
http://www.smacom.jp

Interview



挑戦できる場所

この会社に入って9年、今では数多くのイベント企画を担当されている中原さん。現在の職場に対する思いを語ってくださった。「ここは、やりたいことに挑戦できる場所です。私は、今までの職場の中でここが一番好きです。」その時の顔はとても誇らしげであり、会社に対する思いが感じられた。

休み時間は社員同士で顔を合わせ、互いの夢を語り合うこともあるらしい。職員の中には、休みの日に他社のイベントに行き、技術や運営について勉強する方も多いとのこと。会社のメンバー全体が各自の夢を持ち、それに向かって努力を重ねている様子が感じられた。

全ての人に感動を

中原さんがイベントを企画するとき心がけるのは「このイベントに関わった人すべてが満足できるようにすること」という。終わった後に関係者から良い感想をもらえると、「頑張ってた良かった。次も頑張ろう。」とより仕事に対する情熱を燃やすことができるのだと話された。イベントに来たお客様を満足させることはもちろん、運営に携わった人や駐車場整理の人など裏方業務に関わった人にも達成感を味わってほしい。その思いを胸に、中原さんは全国を飛び回っている。

株式会社スナダフーツ



Akinori Ikenaga

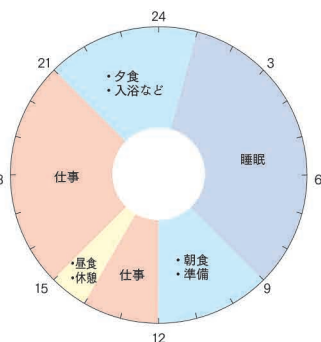
丁寧な仕事で自分にできる最高の商品を提供したい

仕事のモットー

飲食店として基本的なことですが、商品を1つ1つ丁寧に心を込めて作ることを心掛けています。ご来店されたお客様に満足して頂けるように自分に作ることでできる最高の商品を提供しようと常に考えて仕事に臨んでいます。

学生の皆さんへメッセージ

どんなことでも日々の積み重ねが最も大事だと思います。何事も一気に成し遂げることは非常に難しいことです。日進月歩、一日一日を大切に過ごしていきましょう。



:Profile

池永 祥紀さん(26歳)

どんどん家 サンパーク小野田店 店長
山口県長門市出身
龍谷大学文学部日本語日本文学科卒



株式会社スナダフーツ

毎日食べても飽きのこない味。自然に近く、身体にいいものを提供。それが当社のこだわりです。

- 事業内容 / うどん店「どんどん」などをチェーン展開するフードサービス業
- 設立 / 昭和48年12月
- 本社所在地 / 萩市大字唐樋町30番地5
- 代表者 / 代表取締役社長 砂田 耕平
- 資本金 / 5,000万円
- 売上高 / 16億8,000万円
- 従業員数 / 295名(うちパート 248名)
- 事業所 / 山口県(山口市、萩市、長門市、下関市、宇部市、山陽小野田市、防府市、周南市、下松市、柳井市、光市) 東京都、島根県、広島県、岡山県の各店舗

お問い合わせ先

担当 / 採用事務担当 高木 悦子
TEL 0838-24-3333
E-mail sunada_foods@s-dondon.com
<http://www.s-dondon.co.jp>

:Interview



店長の仕事

株式会社スナダフーツは、山口県を中心に全国にうどん屋を展開している企業。サンパーク小野田店で店長を勤める池永さん。大切にしていることは「コミュニケーション」だという。接客はもちろんのこと、スタッフとのコミュニケーションも重要だという。「正社員やパートに関係なく、信頼関係を築けるように、話しかけたり話しやすい雰囲気を作ったりしています」と話す。スタッフ同士の関係性が店全体の雰囲気を作ることもある。取材中も池永さんは気さくで、スタッフの方と話す姿は親しみを感じられ、互いに信頼していることが伝わってきた。

広げたい、ふるさとの味

長門市出身だという池永さん。高校生の頃は毎日のように「どんどん」でうどんを食べていたそう。自分にとって「どんどん」の味はふるさとの味だと懐かしそうに語っていた。

飽きのこない「いつもの味」を大切にしているため、素材には混ぜ物のない、より自然に近い物を使うなど、徹底して気を配っている。また、「どんどん」のネギは山口県産の契約農家の物を中心に使用し、できるだけ新鮮なネギをお客様にお届するために、毎日新しいネギがお店に届けられているという。「これがどんどんのこだわりなんです」と池永さん。味の質への熱意を感じた。